

# スローテンポ通信

第 26 号

2019年4月19日

発行: 一般社団法人スローテンポ協会  
〒329-0403 栃木県下野市医大前 3-7-4-3F

☎ 0285-35-2888

Eメール [usagimokamemo@gmail.com](mailto:usagimokamemo@gmail.com)

ブログ『うさぎもかめも』

<http://usagimokamemo.blog.fc2.com/>

## ◎ あなたのお力、お貸してください！

「誰もが働き誰もが輝く」をスローガンに、モデル事業を展開します。

### 進行中のプロジェクト:


- ※ 新時代の**本屋**のあり方
- ♥ 誰もがほっとする**カフェ**づくり
- ❖ 小山ロブレを注目の駅前ビルにする

関心のある方は当協会まで。

ベストセラーばかりが面白いとは限らない

## スローテンポ書店

営業: 火~土 13時~19時  
日 月 祝 日 休 み



## ☆ 『あなたが知らないだろう おすすめ 100 選』

A4版 12 ページ、無料、書店にあります。

## ☆ 今月のおすすめ

### ・『目の眩んだ者たちの国家』

キム・エラン他 12 名共著 矢島暎子訳  
新泉社 2018 年 1900 円 + 税

2014 年に起きたセウォル号沈没事件は、沈没寸前の韓国社会を露わにした。韓国の気鋭の作家、社会学者たち 12 人が、読者に向けて自分の言葉で思いを語り、真摯に論じた。これは、韓国だけの問題ではない。

### ・『ピバ！ インクルージョン』

柴田靖子著  
現代書館 2016 年 1800 円 + 税

ともに先天性水頭症による重い障害を持つ姉と弟の二人の子育てをする母親の奮闘記。著者自身が、現実を冷静に受け止め、本を読み勉強しそのときそのときで課題を整理し冷静に対処してきた。専門家も一般人も、障害のある人もない人も大いに学ぶことができる。

## 「透明化（見える化）」 の落とし穴

今月のおすすめ『目の眩んだ者たちの国家』は、韓国の気鋭の書き手たちが、セウォル号沈没事件について真摯に論じたものだ。ブログに掲載された記事からホン・チョルギの主張を抜粋して紹介する。日本の課題を見つける上で参考になると思った。

「透明化」や「見える化」「ガラス張り」などという言葉は、民主主義にとって無条件によいことだと理解し、誰も疑ってこなかった。

ところが、現実を疑って見つめ直せば、この「透明化」の別の側面が見えてくる。

「透明化」を絶対視すれば「透明化至上主義」となり、透明でないものを否定することになる。目に見えるものや映像で示せるもの、確かなものだけを重要視し、見えないものやはっきりしないもの、不透明なものは否定される。

最もわかりやすいのが裁判だ。文明国では、対立や衝突が話し合いで解決できなければ、裁判で決着が付けられる。判決が下されれば、その結果が絶対視される。あいまいな証拠や不透明な証言など、判決に直接結びつかないものは切り捨てられ、決して保留にされることはない。

その結果、限りなく黒に近いグレーまでも白にされる。「透明化至上主義」はグレーを白にする装置として働くのである。

法律で罰せられなければ、何をやってもよい。法律の抜け道を探し出し、詐欺まがいの商法がまかり通ることになる。客を騙してその気にさせ、客は雰囲気やその場の流れで品物を買わされる。それも経済効果を生む立派な商行為として認められる。これは儲け主義ビジネスを押し進める側にとってはありがたい。

「透明化」「見える化」を盲目的に礼賛し続けると、誰かが死んでしまうような悲惨な映像でもない限り安全性は無視され、政治的責任は司法判断のみに委ねられることになる。



## どなたも歓迎 懇話会

社会参加は、人と話すことから始まります。最初の 30 分は参加者から話題を提供していただき、残り時間は課題をしぼり、経験やアイデアを出し合って話し合います。

水曜日午後 7 時~9 時、参加無料。

セウォル号事件では、船長や乗組員、船会社などの目に見える犯罪行為は処罰されるが、政権やその取り巻きたちは、黒をグレーにすることによって生き延びている。

フクシマ原発爆発事件についても、その構図は同じように思える。「透明化」社会では、見えるものだけが残り、公共性は見えないものとして捨てられる。怪しげな政策や不透明な法律にも歯止めが効かなくなる。

さらに、「透明化至上主義」は、見えることの価値をことさら高めることによって、市場原理主義を推進する。

見えることだけが目的化されると、政治や言論も劇場型のショーに向かう。オリンピックもパラリンピックも感動を売り込むショービジネスに乗っ取られてしまった。

車や住宅だけでなく、食事、ファッション、教育、福祉、健康ビジネスまでもが、市場に開放され、視覚に訴えるパンフレットで、見かけの安全性や豊かさ、格好良さが強調される。客は宣伝にのせられ、不要なものまで買い求めることになる。

市場原理主義を受け入れたおかげで、日本でも、客をうまく騙して儲けるのが商売の基本になってしまった。だから、さらに手っ取り早い詐欺が蔓延する。捕まらなければ問題にすら思わない。

こうして「知らない人から電話がかかってきたら詐欺と思え」というのが当たり前の社会になってしまった。

警察にも政府にも根本的な対応はない。それは、自らのグレーを白としていたいからだろう。

日本のテレビ討論や雑誌などでの議論に感動がなくなったのは、日本の言論界までもが市場原理主義に支配され、ショービジネスになってしまったからだ。著者のホン・チョルギなら言うだろう。

N

\* \* \* \* \*



## 正しく伝えて人とつながる 実用文教室

文章は最も正確なコミュニケーションの道具です。自分の思いを文章にすることで、考えが点検され、自分自身を広い視野から見つめられるようになります。

木曜日午後 3 時~5 時 (4 月から変更)  
参加費は資料代含めて、1 回 500 円。  
参加随時。